No.	遺跡名	ふりがな	所在地	種別	立地	時代	旧石器	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	弥生	古墳（前期）	古墳（中期）	古墳（後期）	奈良時代	平安時代	中世	検出（確認）された遺構等	出土品等	備考	遺跡の性格								発掘調査	
																								貝塚遺跡の有無	貝塚遺跡の時期	生産遺跡の有無	生産遺跡の時期	城館跡遺跡の有無	城館跡遺跡の時期	寺院遺跡の有無	寺院遺跡の時期	発掘調査の有無	参考文献・報告書名
A	一里塚	いちりづか	下野田字下原	県記念物史跡	台地上	近世																	日光御成道沿い。主要街道が整備された慶長4年（1609）以降に造られたものと思われ、日本橋から11番目の塚にあたる。道の両側に塚が残るものとしては県内唯一。ただし東西塚上の木は原生ではなく、西塚のエノキは大正、東塚のムクノキは昭和に植え替えられた。									
1	諏訪八幡神社遺跡	すわはちまんじんじゃいせき	柴山字宮野	集落跡	台地上	縄文早（井草Ⅱ・条痕文）、前（諸磯ｃ）、中（加曽利EⅡ）、後（称名寺・堀之内Ⅰ）、古墳前、中～近世				1	1	1	1			1					1	土坑21基（加曽利EⅡ7・近世14）、掘立柱建物跡5棟（近世）、井戸跡2基（近世）	土器（縄文土器・古墳土師器・中世土器(内耳土器)・近世陶磁器（肥前系皿・碗・徳利・瀬戸美濃系皿・灯明皿・鍋）・近世土器(内耳土器・火鉢)）、石器（石鏃・打製石斧・磨石・砥石）、石製品（近代石盤・石筆）、土製品（縄文土製円盤・近世土人形・泥面子・ままごと道具・箱庭道具）、鉄製品（近世以降包丁・釘）、銭貨（嘉祐元宝・寛永通宝）	縄文中期主体地点と後期主体地点とがある模様。発掘調査実施の正泉寺では近世～近代廃棄土坑から多量の遺物。石－2参照（発掘調査では中世遺構は未検出）。							有	N－15？	有	文献4, 28, 29, 32
2	宮野遺跡	みやのいせき	柴山字宮野	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）、後（堀之内）、古墳前					1	1			1																	文献28
3	稲荷崎遺跡	いなりざきいせき	柴山字稲荷崎	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）、古墳前					1				1																	文献28
4	柏崎遺跡	かしわざきいせき	柴山字柏崎	集落跡	台地上	縄文前（花積）、後（堀之内）				1		1																				文献28
5	しま岡遺跡	しまおかいせき	荒井新田字しま岡	集落跡	台地上	縄文前（浮島）、後（堀之内）				1	1												遺跡名「しま」は山篇に寿。										文献28
6	上荒井ヶ崎西遺跡	うえあらいがざきにしいせき	荒井新田字上荒井ヶ崎	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）、中（加曽利E）、後（堀之内）			1		1	1																				文献28
7	上荒井ヶ崎遺跡	うえあらいがざきいせき	荒井新田字上荒井ケ崎	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）、中（加曽利E）			1		1																					文献28
8	下荒井ヶ崎遺跡	しもあらいがざきいせき	荒井新田字下荒井ヶ崎	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）、中、後（堀之内）、古墳前、中世			1		1	1			1					1												文献28
9	皿沼遺跡	さらぬまいせき	下大崎字屋敷前	集落跡	台地上	縄文中（加曽利EⅠ～Ⅳ）、後（称名寺・堀之内Ⅰ・Ⅱ、加曽利BⅠ・Ⅱ）、古墳前					1	1			1						住居跡14軒（加曽利EⅠ3・加曽利EⅡ2・加曽利EⅢ3・称名寺2・堀之内Ⅰ1・加曽利BⅡ1・古墳前2）、土坑35基（縄文中～後）、埋甕2基（加曽利EⅢ）	土器（縄文土器・古墳土師器（壺・坩・甕・高坏・器台））、石器（石鏃・打製石斧・磨製石斧・石錐・石匙・石錘・砥石・敲石・磨石・石皿・凹石）、石製品（縄文滑石製模造品）、土製品（土偶・蓋・スタンプ・土玉）	包含層から縄文中～後期の土偶1点出土（報告書未掲載）。古墳前住居跡1は火災住居。未報告有。									有	文献5, 26, 28
10	屋敷回遺跡	やしきまわいせき	下大崎字屋敷回	集落跡	台地上	古墳前									1																	文献28
11	天神山西遺跡	てんじんやまにしいせき	下大崎字屋敷回	集落跡	台地上	古墳前									1																	文献28
12	天神山遺跡	てんじんやまいせき	下大崎字屋敷回	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）、古墳前、奈良、平安			1						1			1	1													文献28
13	天神山東遺跡	てんじんやまひがしいせき	下大崎字屋敷回	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）、前（花積）、中（加曽利E）			1	1	1																					文献28
14	タタラ山遺跡	たたらやまいせき	白岡字山	集落跡	台地上	旧石器、縄文草創・早（撚糸文・子母口・野島）、前（花積、関山～十三菩提）、中（勝坂・阿玉台～加曽利EⅢ・Ⅳ）、後（称名寺～安行Ⅱ）、晩（安行Ⅲb）、古墳前、平安（10ｃ）	1		1	1	1	1	1		1			1	1		住居跡79軒（条痕文3・花積63・加曽利EⅢ3・古墳前7・平安3）、竪穴状遺構2基（花積1・加曽利EⅣ1）、掘立柱建物跡2棟（近世）、炉穴57基（条痕文～花積）、土坑333基（条痕文～諸磯ｂ・近世）、溝跡16条（近世～近代）、地下室5基（近世）	旧石器（ナイフ形石器）、土器（縄文土器・古墳土師器(甕)・土師器・須恵器(坏・壺)・近世陶器(瀬戸美濃系天目碗・皿)）、石器（尖頭器・石鏃・掻器・削器・石匙・打製石斧・磨製石斧・磨石・敲石・磨石・石皿・凹石・礫器）、石製品（玦状耳飾・垂飾）、土製品（円盤・有孔磨製石斧・三角壔形土製品）	縄文早期条痕文期から前期花積下層期にかけての拠点的集落。第2地点では花積期の良好な住居跡一括遺物多数。尖頭器は前期段階のものか。加曽利EⅢ～EⅣ期の遺構・遺物も多く、北側の№15山遺跡との関連か。								有	文献6, 7, 8, 26, 28, 31, 36, 39, 53, 54
15	山遺跡	やまいせき	白岡字山	集落跡 窯跡（古代・炭焼窯）	台地上	旧石器、縄文早（子母口～鵜ヶ島台）・前（花積～十三菩提）・中（阿玉台～加曽利EⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）・後（称名寺・堀之内）、奈良、平安、中世、近世	1		1	1	1	1						1	1	1	住居跡約30軒（条痕文1・阿玉台1・加曽利EⅡ1・EⅢ約20・後期初頭1）、炉穴多数（条痕文）、土坑（縄文・近世）、掘立柱建物跡5棟（中～近世）、溝跡（近世）、館跡1（中世）、木炭窯跡2基（古代）、瓦窯跡1基（近代）	旧石器（ナイフ形石器）、土器（縄文土器・中世陶器(瀬戸美濃系皿)・近世陶磁器(擂鉢・灯明皿・碗・皿・徳利)・土器(かわらけ・火鉢)）、石器（石鏃・掻器・打製石斧・磨石・敲石・石皿・凹石・浮き・砥石）、銭貨（鉄銭・判別不能）	総じて縄文早期後半・中期末葉の拠点集落。第1～3地点は縄文中期加曽利EⅢ式期主体。第4～7地点は条痕文期（子母口～鵜ヶ島台）、加曽利EⅡ～後期初頭主体。第5地点では区画溝・中世陶器検出。第6地点の縄文後期初頭の住居跡は加曽利E系土器主体で、多量の炭化材・焼土が堆積し、床面壁際に土器片列が巡る特異なもの。第3地点では木炭窯跡を検出、1基は分析に			有	K・L	有	0－16？		有	文献9, 10, 28, 37, 41, 55, 56
16	新屋敷遺跡	あらやしきいせき	白岡字茶屋	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）、前（浮島）、中（加曽利E）、後（堀之内Ⅱ）、古墳前				1	1	1	1							1	住居跡1軒（平安）、土坑6基（中世～近世）、井戸跡1基（不明）溝跡10条（近世）	土器（縄文土器・陶磁器）、石器、石製品、銭貨	中近世の陣屋跡（館跡）との伝承あり。					有？			有	文献3, 28, 34
17	茶屋遺跡	ちゃやいせき	白岡字茶屋	集落跡、貝塚、城館跡	台地上	縄文早（撚糸文・条痕文）、前（諸磯ｂ・浮島）、古墳前				1	1		1			1				1	住居跡3軒（浮島1・古墳前2）、炉穴6基（条痕文）、土坑18基（諸磯ｂ・浮島）、溝跡2条（古墳前1・不明1）、井戸跡1基（中世～近世）	土器（縄文土器・古墳土師器(台付甕)）、石器（石鏃・打製石斧・敲石）、土製品（玦状耳飾・土玉）	第1地点住居跡1は諸磯ｂ式と浮島式が共伴出土。第2地点で土製玦状耳飾出土。第6地点ではS字状口縁台付甕が出土。								有	文献11, 12, 26, 28, 35
18	入耕地遺跡	いりごうちいせき	白岡字茶屋	集落跡、館跡 石造物、環状盛土	台地上	旧石器・縄文早（条痕文）、後（堀之内Ⅰ・Ⅱ、加曽利B、安行Ⅰ・Ⅱ）、晩（安行Ⅲa～Ⅲd）、古墳前、中世、近世	1		1	1	1	1	1		1					1	住居跡約16軒（堀之内Ⅰ・加曽利B～安行Ⅲa・古墳前）、掘立柱建物跡28棟（中世）、竪穴状遺構4基、土坑1,024基（称名寺～加曽利B・中世・近世：魚骨廃棄土坑有）、溝跡77条（中世・近世）、炉穴10基（条痕文）、井戸跡22基、地下式坑14基（中世・近世）、ピット群（中世、近世）	旧石器（ナイフ形石器）、土器（縄文土器・古墳土師器(台付甕・壺・碗・坩・器台)・中世陶磁器(白磁・青磁・常滑系甕・瀬戸美濃系皿)・中世土器(擂鉢・かわらけ)）、石器（石鏃・打製石斧・磨製石斧・磨石・凹石・石皿）・土製品（イノシシ形土製品・亀形土製品・土偶、土玉）、石製品（石棒・石剣・垂飾）、中～近世鉄製品（鉄鏃・毛抜き）、鉄滓、中世ガラス製品（切子玉）、板碑（中世）、銭貨（永楽通宝）、魚骨（イルカ・カジキマグロ・マグロ・カツオ）	第1～3地点は縄文後～晩期主体の集落、また中世館跡も確認。白岡八幡宮と正福院との中間に位置することから野与党鬼窪氏関連の館跡か。土坑出土のカジキマグロ・イルカ等魚骨は切削痕あり（切断の上搬入か）。第4地点は縄文後晩期の包含層・中世墓坑。第5地点は中世末～近世の溝、土坑群。井戸にイシガイ投棄。第6・8・10地点でも複数の溝を確認、第5・6・8地点は「入耕地館跡」の外郭部か。石－9参照、第7地点では縄文晩期					有	N－14 ～0－16		有	文献 4, 13, 25, 28, 29, 33, 40, 42, 50, 51

No.	遺跡名	ふりがな	所在地	種別	立地	時代	旧石器	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	弥生	古墳（前期）	古墳（中期）	古墳（後期）	奈良時代	平安時代	中世	検出（確認）された遺構等	出土品等	備考	遺跡の性格								発掘調査	
																								貝塚遺跡の有無	貝塚遺跡の時期	生産遺跡の有無	生産遺跡の時期	城館跡遺跡の有無	城館跡遺跡の時期	寺院遺跡の有無	寺院遺跡の時期	発掘調査の有無	参考文献・報告書名
19	正福院貝塚	しょうふくいんかいづか	白岡字茶屋	集落跡、貝塚、寺院跡、墓（方形周溝墓）、石造物、環状盛土	台地上	縄文前（黒浜・諸磯a、浮島）、中（加曽利E）、後（加曽利B、安行Ⅰ・Ⅱ）、晩（安行Ⅲa～Ⅲd）、古墳前、中世			1	1	1	1	1		1					1	住居跡3軒（黒浜2・古墳前1）、土坑18基（縄文10・中世8）、方形周溝墓1基（古墳前：8.3m四方）、地下式坑1基（中世）、井戸跡2基（中世）・溝跡1条（中～近世）・掘立柱建物跡5棟（近代1・不明4）、焼土跡、遺物包含層（縄文後～晩）	土器（縄文土器・古墳土師器（壺・甕・坩）・中～近世陶器(常滑系擂鉢・甕・瀬戸美濃系皿・天目碗・灯明皿・灯明受皿）・中世土器(かわらけ・内耳土器)）、石器（石鏃・打製石斧・磨製石斧・磨石・凹石）、土製品（土玉）、中世金属製品（真鍮製仏具小椀）、鉄滓、ガラス玉（数珠？）、板碑1（「至徳四年」）、銭貨10（元祐通宝・聖宋元宝・皇宋通宝・元符通宝・大観通宝・景祐元宝・永楽通宝）	市指定史跡。貝塚は地点貝塚と斜面貝塚があるが未調査。オキシジミ・アサリ・ハイガイ・カキ・ハマグリ・アカニシ等。縄文前期の所産か。縄文後～晩期の遺物包含層も発達。小支谷を隔てて隣接する№18遺跡とともに環状盛土遺構が存在。中世遺構・遺物群も仏具・かわらけ・オオタニシブロックを伴う地下式坑、六道銭・ガラス玉を伴う土坑など。石－10参照。	有	Bないし D					有	M－12？	有	文献1, 2, 4, 14, 27, 29, 51
20	白岡東遺跡	しらおかひがしいせき	白岡字東	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）、前（関山）、後（堀之内）、中～近世			1	1		1								1												文献28
21	神山興善寺遺跡	かみやまこうぜんじいせき	白岡字東・篠津字神山	集落跡・寺院跡石造物	台地上	縄文前（諸磯）、中（加曽利E）、後、古墳前、中、後、奈良、中世、近世	1			1	1	1			1	1	1	1	1	1	住居跡2軒（古墳中1・後1）、土坑約110基、地下式坑9（中世）、掘立柱建物跡14棟（中世・近世）、井戸跡12基（中世・近世）、溝跡36条（中世・近世）、ピット群（中世・近世）	土器（縄文土器・古墳土師器・中世陶磁器(青磁・常滑系甕)・中世土器(かわらけ、内耳土器)）、板碑、金銅仏（平安末～中世）。宝篋印塔基礎は建武5（1338）、延文2（1357）、天文2（1533）、天正5（1577）。五輪塔地輪は永享7（1435）。板碑22点は主に暦応2（1339）、貞治年間（1362～1368）銘。うち1点（種子のみ）は H＝133cm と市内最大。	遺跡内の中世寺院・興善寺に関わる遺構・遺物群か。第4地点では幅7m、深さ2.6mの大溝検出、中世末期の寺域区画堀か。大形の廃棄土坑など、16c末の同寺の焼失伝承を裏付けるような結果も。石－9参照。未報告有。							有	N－14～？	有	文献 1, 2, 15, 26, 27, 28, 29, 52
22	中妻遺跡	なかづまいせき	篠津字中妻	集落跡、城館跡製鉄（小鍛冶工房）	台地上	縄文早（撚糸文、条痕文）・前（関山、諸磯b）・中（加曽利E）・後（堀之内Ⅰ）古墳（後）、奈良、平安、中世、近世	1		1	1	1	1					1	1	1	1	住居跡28軒（関山1・古墳前1・古墳後2・奈良～平安11）、土坑多数（縄文早・中世・近世）、井戸跡5基（中世・近世）、掘立柱建物跡約30棟（中世・近世）、ピット群（中世・近世）、溝跡（中世・近世）	土器（縄文土器・土師器・須恵器・中世陶磁器(青磁・白磁・常滑・瀬戸美濃）・土器(かわらけ)・近世陶磁器(肥前)）鉄製品（鉄鏃・鉄鎌・鉄刀子・鉄釘）、土製品（土錘・布目瓦）、銭貨（中世銭）、鉄滓（奈良、平安）	古墳後期及び平安住居跡は多数カマド袖に礫砂層を使用。また平安住居跡から墨書土器（杯）、同カマドから布目瓦片出土。第10地点で精錬鍛冶を行った可能性の高い鍛冶工房跡を検出、工房内に目類の推積も確認され	有	K、L	有	K、L	有	0？			有	文献26, 27, 28, 29, 34, 43, 48
23	篠津志部遺跡	しのつしべいせき	篠津字志部	集落跡、寺院跡	台地上	奈良、平安												1	1													文献28
24	西下谷遺跡	にししたやいせき	白岡字西下谷	集落跡	台地上	縄文中、古墳前					1				1																	文献28
25	七カマド遺跡	ななかまどいせき	白岡字東下谷	集落跡	台地上	縄文後（堀之内）、中世～近代						1								1	土坑7基（中・近世）、溝跡1条（中・近世）	土器（縄文土器）、中世陶器、石器、鉄滓										有	文献28, 49
26	小久喜神辺遺跡	こぐきしべいせき	小久喜字神辺	集落跡	台地上	縄文後（堀之内Ⅱ）						1																				文献28
27	沖山遺跡	おきやまいせき	小久喜字沖山	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）					1										住居跡1軒	土器（縄文土器）										有	文献28, 46
28	沖山西遺跡	おきやまにしいせき	小久喜字沖山	集落跡、窯（古代炭焼窯）	台地上	縄文中（加曽利E）、奈良、平安、中～近世					1							1	1	1	住居跡13軒（加曽利E）、土坑36基（縄文・中～近世）、溝跡2条（中～近世）、井戸跡1基（近世）、屋外炉跡3基（縄文）、木炭窯跡3基（奈良・平安）	土器（縄文土器・陶器・磁器）、土製品、石器、鉄器	第1・2地点は縄文中期の集落。第3地点では木炭窯跡3基を検出、分析により8～10世紀。			有	K、L					有	文献28, 46
29	馬場遺跡	ばんばいせき	小久喜字馬場	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）、近世					1																					文献28
30	西ノ谷西遺跡	にしのやにしいせき	実ケ谷字西ノ谷	集落跡	台地上	縄文前（関山）、中（加曽利E）				1	1																					文献28
31	西ノ谷遺跡	にしのやいせき	実ケ谷字西ノ谷	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）、奈良、平安					1							1	1													文献28
32	川端遺跡	かわばたいせき	実ケ谷字川端	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）					1																					文献28
33	宮前西遺跡	みやまえにしいせき	実ケ谷字宮前	集落跡	台地上	縄文前（花積）中（加曽利E）・後（称名寺）				1	1	1																				文献28
34	宮前遺跡	みやまえいせき	実ケ谷字宮前	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）					1																					文献28
35	鶴巻遺跡	つるまきいせき	実ケ谷字鶴巻	集落跡	台地上	縄文中（加曽利EⅡ）、奈良、平安					1							1	1		住居跡3軒（加曽利EⅡ2・奈良～平安1）、溝跡2条（時期不詳）	土器（縄文土器・中世？土器・須恵器(坏、墨書「上」)）、石器（石鏃・磨製石斧・石皿兼凹石）	第1地点は縄文中期・奈良平安期の集落。第2地点は中世の遺を検出。									有	文献16, 28, 34
36	前田遺跡	まえだいせき	実ケ谷字前田	集落跡、墓（縄文晩期墓坑群）	台地上	縄文中（加曽利EⅡ）、後（堀之内Ⅰ～安行Ⅱ）、晩（安行Ⅲa～Ⅲd・大洞・前浦・千網）、平安、中世					1	1	1							1	住居跡2軒（堀之内Ⅰ1・安行1）、土坑45基（加曽利EⅡ1・安行Ⅰ～Ⅲd18・安行Ⅲb20）、溝跡1条（中・近世）、ピット多数、遺物包含層（安行Ⅰ～Ⅲd）	土器（縄文土器）、石器（石鏃・打製石斧・磨製石斧・磨石・敲石・砥石・石皿・凹石・石棒・独鈷石・楔形石器・礫器・剥片・石核）、石製品（円盤・玉類・槍状石製品）、土製品（ミミズク形土偶・動物形土製品・耳飾）	台地緩斜面部に安行ⅢB期・前浦期の土坑が分布し、該期の遺物包含層も顕著に発達。大洞系土器出土。チャート製剥片・石核が多量に出土。									有	文献17, 28, 45
37	実ケ谷東遺跡	さながやひがしいせき	実ケ谷字東	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）、晩（安行Ⅲa～Ⅲd）					1		1																			文献28
38	西山遺跡	にしやまいせき	実ケ谷字西山	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）					1																					文献28
39	寺裏遺跡	てらうらいせき	実ケ谷字寺裏	集落跡	台地上	縄文前（花積）、中（加曽利E）、後（称名寺）、奈良、平安				1	1	1						1	1													文献28
40	八幡遺跡	はちまんいせき	千駄野字八幡	集落跡	台地上	旧石器、縄文中（勝坂、加曽利E）	1				1											旧石器（尖頭器(試掘調査出土)）											文献28
41	四ツ谷西遺跡	よつやにしいせき	千駄野字四ツ谷	集落跡	台地上	縄文（時期不詳）		1	1	1	1	1	1																			文献28
42	四ツ谷遺跡	よつやいせき	千駄野字四ツ谷	集落跡	台地上	古墳前									1																	文献28
43	原東遺跡	はらひがしいせき	太田新井字原	集落跡	台地上	縄文後（堀之内）						1																				文献28
44	太田新井原遺跡	おおたあらいはらいせき	太田新井字原	集落跡	台地上	縄文中（加曽利E）、近世					1																					文献28
45	原西遺跡	はらにしいせき	太田新井字原	集落跡	台地上	縄文後（堀之内）					1																					文献28
46	太田神社遺跡	おおたじんじゃいせき	太田新井字原	集落跡、城館跡	台地上	縄文前（諸磯）、後（堀之内）、近世				1		1								1												文献28
47	土橋山遺跡	つちばしやまいせき	太田新井字土橋山	集落跡	台地上	縄文後（堀之内）、中世～近代						1								1												文献28
48	外記山遺跡	げきやまいせき	彦兵衛字外記山	集落跡	台地上	縄文後（堀之内）						1																				文献28
49	本田下遺跡	ほんでんしもいせき	岡泉字本田下	集落跡、貝塚、墓	台地上	縄文早（撚糸文・茅山上層）、前（花積・黒浜・諸磯a～十三菩提）、中（阿玉台・加曽利EⅢ）、後（称名寺、堀之内Ⅰ・Ⅱ、加曽利B）、中世、近世				1	1	1	1							1	住居跡8軒（条痕文4・加曽利EⅢ1・堀之内Ⅰ3）、住居内貝塚1（加曽利EⅢ）、炉穴28基（条痕文）、土坑73基（条痕文・堀之内Ⅰ）、墓壙14基（中世）、溝跡3条（時期不詳）	土器（縄文土器・中世土器(擂鉢)）、石器（石鏃・掻器・打製石斧・磨製石斧・磨石・石皿・石棒）、住居内ブロック貝層（ヤマトシジミ・マガキ主体(加曽利EⅢ)）、銭貨（元豊通宝・永楽通宝・天喜通宝・熙寧元宝・天聖元宝・開元通宝・祥符元宝・皇宋通宝・政和通宝・元祐通宝・紹聖通宝・宋元通宝・宣徳通宝）、人骨	条痕文系土器群は早期末葉期のもの。加曽利EⅢ住居跡にブロック貝層あり、年代測定結果約4,300年前。中世の墓壙に六道銭を伴うもの多。6号土坑は在地土器擂鉢伴出、9号土坑は人頭骨残存。また遺跡内に前期黒浜期の地点貝塚あり。旧岩槻市№14遺跡と連続。未報告。	有	C	有	B、C					有	文献18, 28
50	大山遺跡	おおやまいせき	岡泉字大山	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）			1																							文献28

No.	遺跡名	ふりがな	所在地	種別	立地	時代	旧石器	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	弥生	古墳（前期）	古墳（中期）	古墳（後期）	奈良時代	平安時代	中世	検出（確認）された遺構等	出土品等	備考	遺跡の性格								発掘調査	
																								貝塚遺跡の有無	貝塚遺跡の時期	生産遺跡の有無	生産遺跡の時期	城館跡遺跡の有無	城館跡遺跡の時期	寺院遺跡の有無	寺院遺跡の時期	発掘調査の有無	参考文献・報告書名
51	丸山遺跡	まるやまいせき	岡泉字丸山	集落跡	台地上	縄文前（花積・浮島）、後（称名寺）、中世				1		1								1												文献28
52	神台遺跡	しんだいいせき	岡泉字神台	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）中（加曽利Ｅ）、古墳前、奈良、平安、中～近世			1		1				1			1	1	1	土坑5基、溝跡4条、ピット（時期不明）	土器（縄文土器・土師器・中～近世陶磁器(常滑系甕、瀬戸美濃系鉢？)、近世土器）、石器（凹石）											有	文献19,28
53	台下遺跡	だいしたいせき	岡泉字台下	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、後（称名寺）、近世					1	1																				文献28
54	下道遺跡	したみちいせき	岡泉字下道	集落跡	台地上	縄文中（加曽利ＥⅠ・Ⅱ）、後（称名寺・安行Ⅱ）、晩（安行Ⅲa～Ⅲd）					1	1	1								住居跡2軒（加曽利ＥⅡ）、土坑21基（加曽利ＥⅠ～Ⅲ）	土器（縄文土器）、石器（石鏃・凹石）	第20号土坑から加曽利ＥⅠ末の一括資料出土。										有	文献20,28
55	清左衛門遺跡	せいざえもんいせき	彦兵衛字清左衛門	集落跡、貝塚、墓（縄文晩期墓坑群）	台地上	旧石器、縄文前（関山）、中（加曽利ＥⅡ・Ⅲ）、後（称名寺・堀之内Ⅰ・Ⅱ・加曽利Ｂ・曽谷・安行Ⅰ・Ⅱ）、晩（安行Ⅲa・Ⅲb）、中世	1			1	1	1	1							1	住居跡8軒（加曽利ＥⅡ～Ⅲ3・加曽利ＢⅠ1・安行Ⅰ～Ⅱ1・安行Ⅲa1・不明2）、土坑多数（加曽利Ｅ～称名寺・安行Ⅲa）、溝跡6条（時期不明）、ピット群、遺物包含層（縄文中～後）	土器（縄文土器・中世陶磁器）、石器（石鏃・打製石斧等）、土製品（人面土板・耳飾）、石製品（石棒・石冠・勾玉）、銭貨（天聖元宝）	第1地点の土坑から縄文後期称名寺式と南東北系の個体土器が共伴。第2地点は第1地点に近い台地平坦部、加曽利ＥⅡ・加曽利B主体。第3地点は谷寄りの緩斜面、後晩期の遺物包含層発達、安行式期に地形改変の可能性あり。人面土版、石冠等の特異な土製品出土。第4地点は縄文後晩期の集落跡。第5・6地点は埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査。縄文後晩期の水場遺構を検出。第7地点では台地縁辺に展開する竪穴状遺構を検出。未報告。	有	C							有	文献28,34,38,47
56	赤砂利遺跡	あかっちゃりいせき	上野田字赤砂利	集落跡、寺院跡、石造物	台地上	旧石器、縄文早（撚糸文、条痕文）前（花積・諸磯）、中（勝坂Ⅲ、加曽利ＥⅡ・Ⅲ）、後（加曽利Ｂ）、中世、近世	1		1	1	1	1								1	住居跡9軒（加曽利ＥⅡ）、掘立柱建物跡9棟、土坑70基、井戸跡約46基、溝跡18条（以上中～近世）	土器（縄文土器・中世貿易磁器（白磁・青磁）・中世陶磁器(常滑系甕・擂鉢・瀬戸美濃系皿・東播系片口鉢)・中世土器(在地産かわらけ・内耳土器)）、石器（石鏃・掻器・磨石・石皿）、中世和鏡（菊双鳥鏡）、中世木製品（櫛）、中世鉄製品（刀子・釘）、中世陶器転用品（転用円盤）、鉄滓、板碑片、近代生乳瓶	第1地点は15c以降中心、第2地点は14末～15c中心で井戸から白磁片・和鏡・櫛が共伴。遺跡内の大徳寺は鎌倉滅亡時に焼き討ちに遭うと伝う。第6・8・9地点は埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査。未報告有。石－19参照。							有	N－13前～0－16	有	文献2,21,26,27,28,29,30,34,49
57	宿赤砂利遺跡	しゅくあかっちゃりいせき	下野田字宿赤砂利	集落跡	台地上	縄文		1	1	1	1	1	1								住居跡、土坑、溝跡	土器、石器、陶磁器	埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査。未報告有。								有	文献28
58	上野田本村遺跡	かみのだほんむらいせき	上野田字本村	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、後（堀之内）、平安					1	1							1													文献28
59	宿本村遺跡	しゅくほんむらいせき	下野田字宿本村	集落跡	台地上	縄文後、奈良、平安、近世						1						1	1													文献28
60	宮山遺跡	みややまいせき	上野田字宮山	その他（製鉄跡）	台地上	時期不明																鉄滓（時期不明）	遺跡内に製鉄炉とおぼしき遺構断面が存在。			有？						文献28
61	大町遺跡	おおまちいせき	高岩字大町	集落跡	台地上	縄文早（条痕文）・中（加曽利Ｅ）、平安、近世			1		1								1		土坑2基、溝跡3条、井戸跡1基（以上近世）、屋外炉跡1基（縄文）	土器（縄文土器・陶器）、泥面子（近世）											有	文献28,34,46
62	忠恩寺遺跡	ちゅうおんじいせき	高岩字寺下	集落跡、寺院跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、奈良、平安、中世					1							1	1	1			石－16参照。								有	L－11～？	有	文献2,26,27,28,29
63	西田端遺跡	にしたばたいせき	高岩字西田端	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、平安					1								1													文献28
64	高岩本村遺跡	たかいわほんむらいせき	高岩字本村	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）					1																					文献28
65	上宿遺跡	かみじゅくいせき	高岩字上宿	集落跡	台地上	平安													1													文献28
66	新田遺跡	しんでんいせき	爪田ケ谷字新田	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、中世					1									1													文献28
67	新田東遺跡	しんでんひがしいせき	爪田ケ谷字新田	集落跡	台地上	縄文前（花積）、中～近世				1										1													文献28
68	萩原遺跡	はぎはらいせき	爪田ケ谷字萩原	集落跡	台地上	平安、中～近世													1	1													文献28
69	諏訪遺跡	すわいせき	爪田ケ谷字諏訪	集落跡	台地上	中世？														1			かつて土器が出土したとの情報。「諏訪山館」とも伝わる。					有？					文献3,28
70	中通遺跡	なかどおいせき	爪田ケ谷字中通	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、中世					1									1													文献28
71	本田西遺跡	ほんでんにしいせき	爪田ケ谷字本田	集落跡	台地上	縄文中、後					1	1																					文献28
72	本田東遺跡	ほんでんひがしいせき	爪田ケ谷字本田	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、後（堀之内）					1	1																					文献28
73	州崎遺跡	すざきいせき	爪田ケ谷字州崎	集落跡	台地上	縄文後（堀之内）						1											宮代町№37と連続。										文献28
74	爪田ケ谷原遺跡	つめたがやはらいせき	爪田ケ谷字原	集落跡	台地上	中～近世														1													文献28
75	鶴ヶ曽根東遺跡	つるがそねひがしいせき	下野田字鶴ヶ曽根	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、近世					1																						文献28
76	鶴ヶ曽根西遺跡	つるがそねにしいせき	下野田字鶴ヶ曽根	集落跡	台地上	縄文後（堀之内・加曽利Ｂ）						1									土坑7基（縄文後）、溝跡4条（不明）	土器(縄文土器)											有	文献22,28
77	上小笠原遺跡	かみおがさわらいせき	彦兵衛字上小笠原	集落跡	台地上	旧石器、縄文後（堀之内Ⅰ・Ⅱ）、中～近世	1					1								1	住居跡18軒（堀之内Ⅰ～加曽利ＢⅠ）、土坑59基（堀之内Ⅰ・Ⅱ・中～近世）、埋甕1基（堀之内Ⅰ～Ⅱ）、屋外炉跡2基（縄文後）、遺物包含層（堀之内）	土器(縄文土器)、土製品、石器	埋没谷縁辺の緩斜面に集落形成、住居跡1軒は径10m超の大型住居跡。第3地点で発見されたナイフ形石器は、慈恩寺支台では市域初の出土例。											有	文献28,44
78	下小笠原遺跡	しもおがさわらいせき	彦兵衛字下小笠原	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、後（堀之内）					1	1																					文献28
79	向野谷遺跡	むかいのやいせき	太田新井字向野谷	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）					1																						文献28
80	下野谷西遺跡	したのやにしいせき	太田新井字下野谷	集落跡	台地上	縄文後（称名寺）、近世						1																					文献28
81	下野谷遺跡	したのやいせき	太田新井字下野谷	集落跡	台地上	縄文中（加曽利Ｅ）、中～近世					1									1													文献28
82	下野谷東遺跡	したのやひがしいせき	太田新井字下野谷	集落跡	台地上	縄文後					1																						文献28
83	堂ヶ島西遺跡	どうがしまにしいせき	太田新井字堂ヶ島	集落跡	台地上	縄文中、後					1	1																					文献28
84	堂ヶ島東遺跡	どうがしまひがしいせき	太田新井字堂ヶ島	集落跡	台地上	縄文前（諸磯）、中（加曽利Ｅ）				1	1									1			石－31参照。										文献28
85	鬼窪尾張繁政館跡	おにくぼおわりしげまさかんせき	小久喜字中村	城館跡、窯（古代炭焼窯）	台地上	旧石器、縄文中（阿玉台）、晩（安行Ⅲa）、中世、近世	1				1		1							1	掘立柱建物跡17棟、土坑約270基、地下式坑6基、溝33条、井戸21基、木炭窯跡3基、ピット多数（以上木炭窯跡以外は中～近世）	旧石器（ナイフ形石器）、土器（縄文土器・中～近世陶磁器(常滑系甕・瀬戸美濃系皿)・土器(内耳土器・かわらけ)）、板碑片、銭貨（開元通宝・洪武通宝・永楽通宝等）	鬼窪尾張繁政（16c後半）の館跡か、第1・第4地点にて館跡を区画する大規模な堀を検出。また第4地点にて中世埋納銭出土、約2000枚を確認。第5地点では時期不詳木炭窯検出。未報告有。石－14参					有	0－16			有	文献3,4,23,29

No.	遺跡名	ふりがな	所在地	種別	立地	時代	旧石器	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	弥生	古墳（前期）	古墳（中期）	古墳（後期）	奈良時代	平安時代	中世	検出（確認）された遺構等	出土品等	備考	遺跡の性格								発掘調査	
																								貝塚遺跡の有無	貝塚遺跡の時期	生産遺跡の有無	生産遺跡の時期	城館跡遺跡の有無	城館跡遺跡の時期	寺院遺跡の有無	寺院遺跡の時期	発掘調査の有無	参考文献・報告書名
86	海老島遺跡	えびしまいせき	太田新井字海老島	集落跡	台地上	縄文早（沈線文・条痕文）、前（浮島）、中（加曽利E）、後（称名寺・堀之内Ⅰ）、平安			1	1	1	1							1		住居跡1軒（平安）、炉穴3基（条痕文）、遺物包含層（条痕文）	土器（縄文土器・土師器）、石器	埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査。									有	文献24
城-1	陣屋（白岡元館）	じんや（しらおかしやかた）	白岡字新田	陣屋もしくは館	台地上	平安末～？														1			時期不明。鬼窪氏関連の陣屋（館跡）か。										文献3, 26
城-2	丸山城	まるやまじょう	岡泉字丸山		台地上															1			時期不明。										文献3
城-3	太田陣屋	おおたじんや	太田新井字土橋山		台地上	戦国														1	堀		箱薬研堀の堀を検出するも時期不明。					有				有	文献3
石-1	柴山・福田好行家	しばやま・ふくだよしゆきけ	柴山字宮野		台地上	室町（南北朝）																板碑1（「永徳三年癸亥十月廿六日」）										文献29
石-2	柴山・石井壽美家	しばやま・いしいすいけ	柴山字宮野		台地上																	板碑1（破片）	遺跡№1内。									
石-3	柴山・田口雅之家	しばやま・たぐちまさゆきけ	柴山字稲荷崎		台地上	戦国																板碑1（「文明十二年五月」）										文献29
石-4	柴山・佐々木弘光家	しばやま・ささきひろみつけ	柴山字稲荷崎		台地上																	板碑1（破片）										文献29
石-5	篠津・矢島信子家	しのづ・やじまのぶこけ	篠津字志部		台地上																	板碑1（破片）										文献29
石-6	篠津・菱沼敏家	しのづ・ひしぬまとしけ	篠津字志部		台地上																	板碑1（破片）										文献29
石-7	篠津弁財天	しのづべんざいてん	篠津字向沖合		自然堤防上	南北朝																板碑1（「暦（応）」）										文献29
石-8	篠津久伊豆神社	しのづひさいずじんじゃ																				板碑1（破片）	遺跡№22内。									
石-9	興善寺	こうぜんじ	白岡字東		台地上	南北朝																宝篋印塔5（「寛永二十一年」）、基礎4（「建武（五）年」、「延文二年十月二十九日」、「延文二年□月十六日」、「天文二年六月八日」）、五輪塔1（地輪「永享七年二月十七日」） 板碑22（「暦応二」	遺跡№21内。紀年銘のない板碑片１はH＝133㎝と市内最大。市指定文化財。										
石-10	正福院	しょうふくいん	白岡字茶屋		台地上	南北朝～室町																宝篋印塔2（「正長三年二月五日」、「寛永二十一年」）、板碑44（「至徳元年十月廿九日」、「応永十五戊子年九月日」、「暦（応）」、破片41）	遺跡№19内。										
石-11	白岡・井上立輔家	しらおか・いのうえりゅうすけけ	白岡字茶屋		台地上	室町～戦国																板碑4（「応永廿三年九月十」、「明応二二（四）年三月十日」、破片2）	遺跡№18内。										
石-12	白岡・角田喜好家	しらおか・かくたきよしけ	白岡字茶屋		台地上																	板碑1（破片）	遺跡№18内。									
石-13	小久喜・鬼久保清家	こぐき・おにくぼきよしけ	小久喜字中村		台地上	南北朝																板碑2（「貞治七年二月十六日」、破片1）	遺跡№86内。									
石-14	寿楽院	じゅらくいん	小久喜字西山		台地上																	板碑1（破片）	遺跡№86内。									
石-15	野牛・濱田寅男家	やぎゅう・はまだとらおけ	野牛字内舞台		自然堤防上	室町																板碑2（「文明」、破片1）										文献29
石-16	忠恩寺	ちゅうおんじ	高岩字寺下		台地上																	宝篋印塔2（「寛永二十年」、「寛永三十一年」）、板碑1（破	遺跡№61内。									
石-17	高岩・斎藤宗一家	たかいわ・さいとうそういちけ	高岩字下駒形		台地上	室町（南北朝）																板碑2（「康永元」、破片1）										文献29
石-18	寺塚・地蔵堂	てらつか・じぞうどう	寺塚字下道		自然堤防上																	板碑1（破片）										文献29
石-19	大徳寺	だいとくじ	上野田字赤砂利		台地上	鎌倉																板碑13（「正和二年」、「元亨三年八月日」、「応仁二年正月三日」、「応仁（二）□月十」、「永正」） 破片8）	遺跡№56内。										
石-20	下野田・折原幸雄家	しものだ・おりはらゆきおけ	下野田字本村		台地上	戦国																板碑1（「享禄五壬辰二月十五日」）	市内最新であり唯一の逆修供養。									文献29
石-21	下野田・吉田光一家	しものだ・よしだこういちけ	下野田字本村		台地上	室町																板碑6（「延慶三年十月　日」、「文安二年二月十五日」、破片										文献4, 29
石-22	下野田・吉沢寛一郎家	しものだ・よしざわかんいちろうけ	下野田字下原		台地上	室町（南北朝）																板碑1（「貞治七年十二月　日」）	貞治七年は応安元年。									文献29
石-23	下野田・山口義雄家	しものだ・やまぐちよしおけ	下野田字新田前		台地上	室町																板碑2（「文明」、破片1）										文献29
石-24	実ケ谷・内田仁家	さながや・うちだひとしけ	実ケ谷字寺裏		台地上	鎌倉																板碑1（「正応二年　月日」）	基部に孔。市指定文化財。									文献4, 29
石-25	岡泉観音堂	おかいずみかんのんどう	岡泉字神台		台地上																	板碑1（破片）										文献29
石-26	安楽寺	あんらくじ	太田新井字中		台地上	南北朝～戦国																宝篋印塔1（「寛永十年」）、板碑5（「貞和三年四月」、「文和三年八月　□」、「文安二年」、「文明　十二月」、破片1）											
石-27	岡泉・丸山共同墓地	おかいずみ・まるやまきょうどうぼち	岡泉字丸山		台地上	鎌倉～？																板碑7（「弘（安）九」、「嘉禄二」、「応永八年」、破片4）	弘安銘は市内最古。									文献4, 29
石-28	太田新井・川崎昇家	おおたあらい・かわさきのぼけ	太田新井字原		台地上	南北朝、室町																板碑2（「明徳二年三月」、「貞治二二年」）										
石-29	太田新井・川崎一也家	おおたあらい・かわさきかずやけ	太田新井字土橋山		台地上	南北朝																板碑1（「永徳三年二月　日」）										文献29
石-30	太田新井・鷲谷昭二家	おおたあらい・さぎやしょうじけ	太田新井字土橋山		台地上	室町																板碑1（「永享七年五月八日」）	H=37㎝で市内最小。									文献29
石-31	太田新井・山崎浩治家	おおたあらい・やまざきこうじけ	太田新井字堂ヶ島		台地上	鎌倉																板碑3（「嘉元二年八月　日」、「至徳三年　月　日」、破片1）	遺跡№84内。										
石-32	旧大山民俗資料館	きゅうおおやまみんぞくしりょうかん	荒井新田字しま岡																			板碑2（「正応八年八月日」、破片1）	所在地不明板碑のみ記載。市内所在のもの10点を含め計12点を展示。										
石-33	観福寺	かんぷくじ	野牛字内舞台																			宝篋印塔2（「慶長十五年九月十一日」、「慶長二十年八月二十一日」）										文献29
石-34	篠津阿弥陀堂	しのづあみだどう	篠津字志部																			宝篋印塔1（「寛永十四年」）										文献29
石-35	爪田ケ谷観音堂	つめたがやかんのんどう	爪田ケ谷字原																			宝篋印塔2（「寛永十六年」2、「寛永十七年」）										
	合計						10	2	22	26	59	43	10	0	16	1	2	13	21	31													

注1：№は以下のように使い分けた。
　周知の埋蔵文化財包蔵地…算用数字のみの表記　中世石造物（板碑・五輪塔等）の所在地…石-算用数字で表記　城館跡所在地…城-算用数字で表記　包蔵地の可能性がある場所…アルファベットで表記
注2：「遺跡の性格」の時期については、以下のとおりアルファベットで略記し、平安時代以降で詳細な時期がわかる場合については、算用数字で世紀まで記入した。
　縄文時代早期…A　前期…B　中期…C　後期…D　晩期…E　弥生時代中期…F　後期…G　古墳時代前期…H　中期…I　後期…J　奈良時代…K　平安時代…L　鎌倉時代…M　室町時代…N　戦国時代…O